

## 第 2 1 回

# 抗ウイルス療法研究会

The 21th Annual Meeting of the Japanese Association for Antiviral Therapy

## 案内、プログラム

会 期： 2011 年 5 月 29 日（日）～ 30 日（月）

会 場： 金沢市文化ホール

〒920-0864 金沢市高岡町 15 番 1 号

TEL. 076-223-1221

会 長： 村山次哉（北陸大学薬学部生命薬学講座生体防御薬学教室）

### 特別講演

西山幸廣 先生（名古屋大学大学院医学系研究科ウイルス学分野）

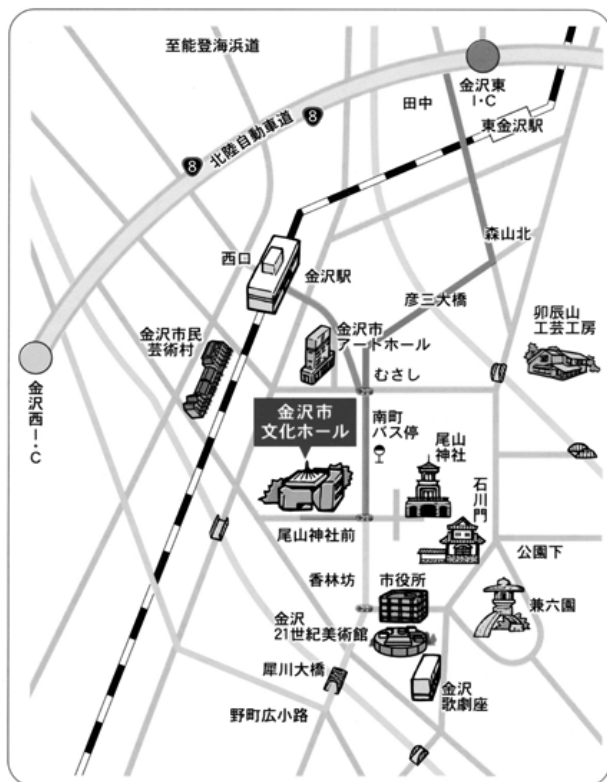
「単純ヘルペスウイルス HF10 を用いたがん治療法の開発」

### シンポジウム

劉 園英 先生（北陸大学薬学部医療薬学講座東洋医薬学分野）

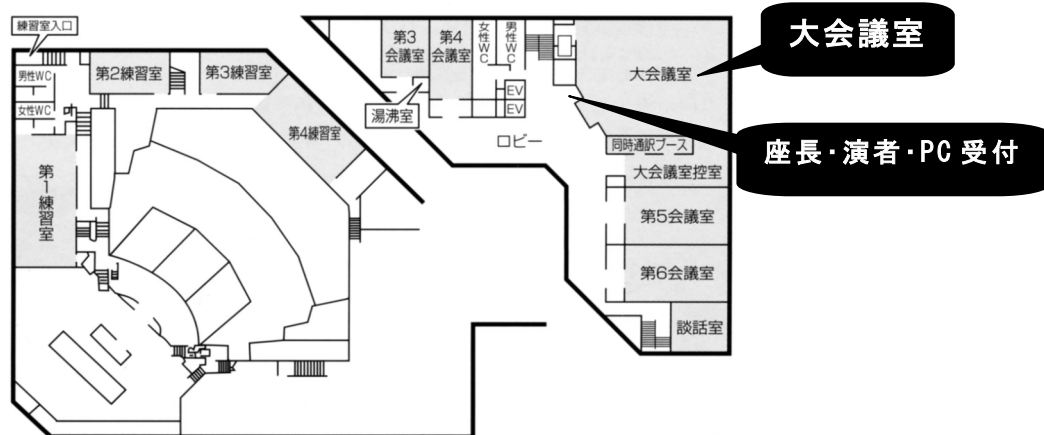
「ウイルス感染症に対する漢方の役割－自然治癒力を高める  
漢方療法－」

## 交通のご案内



- JR 金沢駅からのアクセス  
タクシー 約 10 分  
バス 約 15 分
- バスのご案内  
金沢駅前 (東口バスターミナル)  
7~9 番のりば  
「南町」 停車下車 徒歩 3 分  
\* バスに関する詳細については  
「北鉄バステレホンサービス  
センター」にてご確認ください。  
TEL (076) 237-5115
- 小松空港からのアクセス  
空港連絡バス 約 60 分  
香林坊バス停下車 徒歩 5 分  
※ 金沢駅直通バスは香林坊に停車  
しませんのでご注意ください。

## 会場案内図 金沢市文化ホール 3F 大会議室



## 参加者へのご案内

### 1、参加者の受付について

5月29日(日) 8:30～17:00

5月30日(月) 8:30～11:00

場所：金沢市文化ホール 3F 大会議室前

2、参加登録料： 会員 5,000円  
非会員 6,000円  
学生会員(大学院生を含む) 2,000円

登録された方は、参加証・ネームカードと領収書をお受け取りください。

懇親会費： 5,000円

懇親会には、お気軽にご参加下さい。皆様のご参加をお待ちしております。

参加登録料および懇親会参加費用は、できるだけ事前に下記口座に振込み下さいませにお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行

記号 13110

番号 2037451

名義 第21回抗ウイルス療法研究会

3、抄録集：抄録集の事前発行は致しません。例年通り当日会場でご購入下さい(価格、1,000円)。

### 4、宿泊申し込み

5月28日(土)、29日(日)の両日とも会場に隣接する金沢ニューグランドホテルがシングル1泊朝食付き、税・サービス料込みの特別料金 8,000円でご利用頂けます。予約は各自で直接お申し込みお願い致します。その際に「第21回抗ウイルス療法研究会に出席の為」と申し添えて下さい。

金沢ニューグランドホテル

〒920-8688 金沢市南町4-1

電話 076-233-1311

URL: <http://www.new-grand.co.jp/>

## 座長・発表者へのご案内

### 座長の方へ

座長席は、スクリーンに向かって右側になります。担当の演題開始 10 分前までに、次座長席にお着きください。

### 演者の方へ

1. 演者席は、スクリーンに向かって左側になります。各自の発表開始時刻の 10 分前までに、次演者席にお着きください。

2. 発表時間

一般演題は、発表 10 分間、質疑応答 5 分間です。

発表終了 1 分前にベル 1 回、終了時にベル 2 回鳴らします。

発表時間厳守でお願いいたします。

3. 発表形式

① 発表は、全て PC による発表 (併写はできません) になります。

会場には、Windows XP に Microsoft PowerPoint 2007 がインストールされた PC を用意します。

② 発表者ご自身により、講演台上のキーボードとマウスで操作を行って頂きます。

\* 詳細は後述の「PC データ作成上のお願い」をご参照ください。

4. PC 受付

① 29 日 (日) は 8 時 30 分から受付を開始します。

② 30 日 (月) 発表の方は、できるだけ前日に受付を終了してください。

③ 「PC 受付」には発表と同等の PC を試写確認用として用意しますので PC 受付にて発表データの確認を行ってください。

## 「PC データ作成上のお願い」

1. 会場には、Windows XP に Microsoft PowerPoint 2003 及び 2007 がインストールされた PC を用意致します。**PowerPoint 2010 は使用できません。**  
また、音声の出力、動画ファイルは使用できません。
2. 発表データは、USB メモリーか CD-R にてご持参ください。
3. 発表データファイル名は「演題番号+氏名」（例：演題 2 金沢太郎）として下さい。
4. スライドや OHP の使用はできません。
5. メディアは、ウイルス感染防止のため、最新の定義ファイルを使ったウイルス 駆除ソフトにより確認を行ったものをお持込ください。
6. 発表データは、学会終了後責任を持って消去致します。

## 第21回 抗ウイルス療法研究会 プログラム

### 1日目(5月29日)

9:30~9:35	開会の挨拶
9:35~11:05	ヘルペスウイルス
11:05~11:20	コーヒーブレイク
11:20~12:20	HIV (1)
12:20~13:20	昼食 理事会 (3F、談話室)
13:20~14:05	シンポジウム、劉園英先生
14:05~15:05	HIV (2)
15:05~15:35	神経系ウイルス
15:35~15:50	コーヒーブレイク
15:50~16:50	HCV
16:50~17:50	特別講演、西山幸廣先生
18:15~	懇親会

### 2日目(5月30日)

9:30~10:15	新規化合物
10:15~11:00	HIV (3)
11:10~11:40	総会
11:40	閉会の挨拶

## 第21回抗ウイルス療法研究会プログラム

1日目（5月29日）

9：30－9：35 開会の挨拶

9：35－11：05 ヘルペスウイルス

座長 小山 一 先生（和歌山県立医科大学）  
井上直樹 先生（国立感染研・ウイルス第1部）

- 1) 新規抗水痘帯状疱疹ウイルス化合物に対する耐性株の作出と耐性変異の同定  
松下実理<sup>1,2</sup>，福井良子<sup>1</sup>，津田美穂子<sup>1</sup>，東 知寿香<sup>1,2</sup>，山口十四文<sup>2</sup>，  
○井上直樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>感染研・ウイルス1部，<sup>2</sup>帝京科学大・生命環境・バイオサイエンス
- 2) 単純ヘルペスウイルス1型感染症に対するブラジル産プロポリスの有効性とその評価  
○黒川昌彦<sup>1</sup>，甲斐久博<sup>1</sup>，吉田裕樹<sup>1</sup>，堤 重敏<sup>2</sup>，安川 憲<sup>3</sup>，渡辺 渡<sup>1</sup>，  
松野康二<sup>1</sup>，白木公康<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>九州保健福祉大・薬，<sup>2</sup>アマゾンフード，<sup>3</sup>日本大・薬，<sup>4</sup>富山大・医
- 3) 微酸性アルギニンを用いた表在性ウイルス感染症の予防・治療の可能性  
○池田敬子<sup>1,2</sup>，辻本和子<sup>1</sup>，山崎 尚<sup>1</sup>，鈴木幸子<sup>2</sup>，小山 一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>和歌山医大・院医・ウイルス，<sup>2</sup>保健看護学部
- 4) 組織障害の少ないウイルス不活化薬としてのアミノ酸誘導体についての解析  
辻本和子<sup>1</sup>，池田敬子<sup>1</sup>，山崎 尚<sup>1</sup>，Tsutomu Arakawa<sup>2</sup>，○小山 一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>和歌山県立医大・院医・ウイルス，<sup>2</sup>Alliance Protein, USA
- 5) 造血幹細胞移植患者における単純ヘルペスウイルス1型（HSV-1）の口腔内への排出状況と薬剤耐性 HSV-1 の出現  
○王 麗欣<sup>1</sup>，辻 正徳<sup>2</sup>，谷口修一<sup>2</sup>，西村秀一<sup>3</sup>，伊藤（高山）睦代<sup>1</sup>，  
山口（木下）一美<sup>1</sup>，西條政幸<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>感染研ウイルス1，<sup>2</sup>虎の門病院血液内科，<sup>3</sup>仙台医療センター
- 6) **Tricin, 4',5,7-trihydroxy-3',5'-dimethoxyflavone** による抗ヒトサイトメガロウイルス効果  
○李 瑩<sup>1,3</sup>，山田理恵<sup>1</sup>，定成秀貴<sup>2</sup>，松原京子<sup>1</sup>，土田裕三<sup>3</sup>，村山次哉<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>北陸大・薬，<sup>2</sup>教能開センター，<sup>3</sup>鳳凰堂

11：05－11：20 コーヒーブレイク

11:20-12:20 HIV (1)

座長 岡本実佳 先生 (鹿児島大学)  
青木 学 先生 (熊本保健科学大学)

7) 病態の進行に伴う HIV-1 変異の解析

○ 瀧永博之, 土屋亮人, 岡 慎一  
国立国際医療研究センター・ACC

8) 日本人 HIV 患者におけるラルテグラビル血中濃度の検討

○ 土屋亮人<sup>1</sup>, 濱田哲暢<sup>2</sup>, 林田庸総<sup>1</sup>, 瀧永博之<sup>1</sup>, 本田美和子<sup>1</sup>, 照屋勝治<sup>1</sup>,  
菊池 嘉<sup>1</sup>, 岡 慎一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立国際医療研究センター・ACC, <sup>2</sup>熊本大院・薬

9) 成人 HIV 感染者に対する Raltegravir と boosted Darunavir の併用による  
NRTI sparing regimen の臨床効果

○ 塚田訓久, 西島 健, 叶谷文秀, 瀧永博之, 岡 慎一  
国立国際医療研究センター・ACC

10) HIV 感染患者に合併した高血圧症における問題点

本田 元人  
国立国際医療研究センター・ACC

12:20-13:20 昼 食 (理事会)

13:20-14:05 シンポジウム

座長 村山次哉 (北陸大学)

演者: 劉 園英 先生 (北陸大学薬学部医療薬学講座東洋医薬学分野)

演題: ウイルス感染症に対する漢方の役割ー自然治癒力を高める漢方療法ー

14:05-15:05 HIV (2)

座長 青木宏美 先生 (熊本大学)  
土屋亮人 先生 (国立国際医療研究センター)

11) mCherry 可視化 HIV-1 を用いた HIV-1 体内播種早期ダイナミクスの検  
討: 抗 HIV 薬を用いた治療による変化

○ 青木宏美<sup>1</sup>, 鍛田伸好<sup>1</sup>, 服部真一郎<sup>2</sup>, 林 宏典<sup>1</sup>, 青木 学<sup>1,3</sup>,  
岡田誠治<sup>2</sup>, 満屋裕明<sup>1,4</sup>

<sup>1</sup>熊本大院・生命科学・血液内科, <sup>2</sup>熊本大エイズ学センター,

<sup>3</sup>熊本保健科学大・保健科学部, <sup>4</sup>米国国立癌研究所・レトロウイルス感染症  
部



1 2) **Oxatricyclic (tris-tetrahydrofuranylurethane: tris-THF)** 構造を有する新規の HIV プロテアーゼ阻害剤 (PI), **GRL-0519** の抗ウイルス活性の検討  
天野将之<sup>1</sup>, 東條 靖<sup>1</sup>, 青木 学<sup>1</sup>, Salcedo Gomez Pedro Miguel<sup>1</sup>, Arun K. Ghosh<sup>2</sup>, ○満屋裕明<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>熊本大院・生命科学・血液内科, <sup>2</sup>Purdue Univ.

1 3) **Tipranavir** の酵素活性阻止能とプロテアーゼ二量体化阻止能の喪失に關与するアミノ酸変異の同定  
○青木 学<sup>1,2</sup>, 井手一彦<sup>2</sup>, Matthew L. Danish<sup>2</sup>, 青木宏美<sup>2</sup>, 満屋裕明<sup>2,3</sup>  
<sup>1</sup>熊本保健科学大・保健科学・医学検査学, <sup>2</sup>熊本大院・生命科学・血液内科,  
<sup>3</sup>米国国立癌研究所・レトロウイルス感染症部

1 4) **HSP70** による **Vif** の抗 **APOBEC3G** 活性の阻害  
杉山隆一<sup>1</sup>, 西辻裕紀<sup>1</sup>, 長沼晴樹<sup>1</sup>, 小関 寛<sup>1</sup>, 古川亜矢子<sup>2</sup>, 片平正人<sup>2</sup>, 羽生勇一郎<sup>3</sup>, 高久 洋<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>千葉工大・工・生命環境科学, <sup>2</sup>京都大・エネルギー理工・生体エネルギー  
<sup>3</sup>Colorado State University

1 5 : 0 5 - 1 5 : 3 5            神経系ウイルス

座長 西條政幸 先生 (国立感染研・ウイルス 1 部)

1 5) **5HT<sub>2A</sub>** レセプター阻害剤は **JC** ウイルスの増殖を抑制する  
○奴久妻聡一<sup>1</sup>, 竹上 勉<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>神戸市環境保健研究所・微生物, <sup>2</sup>金沢医大・総合医学研究所・分子腫瘍

1 6) 正常牛胎児血清に含まれる抗ウイルス活性因子について  
河合明彦  
生産開発科学研・分子微生物

1 5 : 3 5 - 1 5 : 5 0        コーヒーブレイク

1 5 : 5 0 - 1 6 : 5 0        H C V

座長 榎本信幸 先生 (山梨大学)  
奴久妻聡一 先生 (神戸市環境保健研究所)

1 7) 海洋生物をライブラリーソースとした **HCV NS3 Helicase** 活性阻害化合物の検索  
○山下篤哉<sup>1</sup>, 古田篤史<sup>2,3</sup>, 田中淳一<sup>4</sup>, 長浜夏樹<sup>4</sup>, 秋光信佳<sup>5</sup>, Kazi Abdus Salam<sup>5</sup>, 谷 英典<sup>5</sup>, 松田泰嘉<sup>3</sup>, 藤田 統<sup>3</sup>, 藤本雄介<sup>1</sup>, 池田正徳<sup>6</sup>, 加藤宣之<sup>6</sup>, 前川信哉<sup>7</sup>, 榎本信幸<sup>7</sup>, 常田 聡<sup>3</sup>, 関口勇地<sup>2</sup>, 野田尚宏<sup>2</sup>, 森石 恆司<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>山梨大・院・医工学総合・微生物, <sup>2</sup>産総研・生物機能工学, <sup>3</sup>早稲田大・院・先進理工, <sup>4</sup>琉球大・理・海洋自然科学科, <sup>5</sup>東京大・アイソトープ総合

センター, <sup>6</sup> 岡山大・院・医歯薬学総合・腫瘍ウイルス, <sup>7</sup> 山梨大学・医・第一内科

1 8) **In silico** 分子設計手法による **HCV NS3 protease** 活性阻害化合物の創製

○山下篤哉<sup>1</sup>, 松本武久<sup>2</sup>, 高谷大輔<sup>2</sup>, 上條加寿恵<sup>2</sup>, 前川伸哉<sup>3</sup>, 坂本直哉<sup>4</sup>, 池田正徳<sup>5</sup>, 加藤宣之<sup>5</sup>, 梅山秀明<sup>2,6</sup>, 横山茂之<sup>2,7</sup>, 榎本信幸<sup>3</sup>, 森石恆司<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>山梨大・院・医工学総合・微生物, <sup>2</sup>理研・横浜研・生命分子システム基盤, <sup>3</sup>山梨大・医・第一内科, <sup>4</sup>東京医歯大・院・医歯学総合・分子肝炎制御学, <sup>5</sup>岡山大・院・医歯薬学総合・腫瘍ウイルス, <sup>6</sup>北里大・薬・生物分子設計学, <sup>7</sup>東京大・院・理・生物化学

1 9) **1' 位にメチル基を有するジオキソラニルヌクレオシドの合成とその抗 HCV 活性**

○窪田 豊<sup>1</sup>, 金田有理<sup>1</sup>, 原口一広<sup>1</sup>, 加藤宣之<sup>2</sup>, 田中博道<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>昭和大・薬, <sup>2</sup>岡山大・医歯薬

2 0) **Discovery of novel phenanthridinone derivatives as selective inhibitors of HCV replication**

○Mohammed TA Salim<sup>1</sup>, Hiroshi Aoyama<sup>2</sup>, Kazuyuki Sugita<sup>2</sup>, Kou-ichi Watashi<sup>3</sup>, Mika Okamoto<sup>1</sup>, Yuichi Hashimoto<sup>2</sup>, Masanori Baba<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>Center for Chronic Viral Diseases, Kagoshima University, <sup>2</sup>Institute of Molecular and Cellular Biosciences, The University of Tokyo, <sup>3</sup>Department of Virology II, National Institute of Infectious Diseases

1 6 : 5 0 – 1 7 : 5 0 特別講演

座長 榮鶴義人 先生 (鹿児島大学)

演者 : 西山幸廣 先生 (名古屋大学大学院医学系研究科ウイルス学分野)

演題 : 単純ヘルペスウイルス **HF10** を用いたがん治療法の開発

1 8 : 1 5 – 懇親会

2 日目 ( 5 月 3 0 日 )

9 : 3 0 - 1 0 : 1 5 新規化合物

座長 丸山徳見 先生 (徳島文理大学)

2 1 ) 新規 Dengue ウイルス阻害剤の開発を指向した計算科学研究

○川下理日人<sup>1,2</sup>, Sabar Pambudi<sup>3</sup>, 柏田理恵<sup>1</sup>, 安永照雄<sup>2</sup>, 黒須 剛<sup>3</sup>, 生田和良<sup>3</sup>, 高木達也<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup> 阪大院薬・情報・計量薬学, <sup>2</sup> 阪大微研・遺伝情報・ゲノム情報解析,  
<sup>3</sup> 阪大微研・ウイルス免疫

2 2 ) 炭素環オキセタノシン類の抗ウイルス作用と新たな生理活性の発見

○丸山徳見<sup>1</sup>, 榊原紀和<sup>1</sup>, 塚本郁子<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 徳島文理大・香川薬, <sup>2</sup> 香川大・医

2 3 ) ATL 細胞特異的抑制活性を有する新規薬剤と cepharanthine との併用効果

○外山政明<sup>1</sup>, 濱崎隆之<sup>1</sup>, 宇都倫史<sup>1</sup>, 青山洋史<sup>2</sup>, 岡本実佳<sup>1</sup>, 橋本祐一<sup>2</sup>, 馬場昌範<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 鹿児島大・院・医歯学・難治ウイルス研, <sup>2</sup> 東京大学分子生物学研究所

1 0 : 1 5 - 1 1 : 0 0 HIV ( 3 )

座長 高久 洋 先生 (千葉工業大学)

2 4 ) Emergence of HIV-1 Variants Highly Resistant to Darunavir and the Resistance Mechanism

○Matthew L. Danish<sup>1</sup>, Manabu Aoki<sup>1</sup>, Yasuhiro Koh<sup>1</sup>, and Hiroaki Mitsuya<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup> Depts. of Hematology and Infectious Diseases, Kumamoto Univ.

<sup>2</sup> Experimental Retrovirology Section, NCI

2 5 ) 糖鎖を用いたナノバイオテクノロジーに基づくウイルスの高感度検出法の開発

○隅田泰生<sup>1,2</sup>, 張 旭<sup>1,2</sup>, 永友真未<sup>2</sup>, 横山理沙<sup>2</sup>, 若尾雅広<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 鹿児島大・院・理工学, <sup>2</sup> スティックスバイオテック

2 6 ) 糖固定化金ナノ粒子技術を用いた HIV-1 感染症新規予防法および早期診断法の開発

岡本実佳<sup>1</sup>, 張 旭<sup>2</sup>, 濱崎隆之<sup>1</sup>, 隅田泰生<sup>2</sup>, 馬場昌範<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 鹿児島大院・医歯学・難治ウイルス研, <sup>2</sup> 鹿児島大・院・理工学

1 1 : 1 0 - 1 1 : 4 0 総 会

1 1 : 4 0 閉会の挨拶